

# 企業地場 群像 146

プラスチックの一種、ポリカーボネート（PC）樹脂と呼ばれる素材で、透明のパネルを造っている。重さはガラスの半分だが、衝撃に対する強さは約250倍。この特性を生かし、建設機械など幅広いメーカーに取引先を広げている。主力は、シヨベルカーなど建機の運転席向けだ。石が飛んできてガラスのように割れる恐れがない。国内の全建機メーカーに供給している。2月、米イリノ

## レニアス

（三原市）



透明のパネルを機械で持ち上げる社員（三原工場）

# 樹脂パネル軽く高強度

イ州に子会社を設立し、北米でも受注を伸ばす。PC樹脂は傷に弱く、摩擦すると曇ったように視界を遮ってしまう。この弱点を特殊なコーティングで解決した。バスや鉄道車両の窓、スポーツカーのヘッド

《会社概要》本社は三原市沼田西町。1976年設立。91年に社名を西日本ガスケットからレニアスへ変更した。3月末時点の従業員は132人。2017年3月期の売上高は41億6900万円。

イン。ガラスではできない形状も表現できる」と植田博臣取締役は胸を張る。アルミサッシの加工も手掛ける。15年、栃木県小山市に2カ所目の工場を建てた。ガラス窓とアルミ製の枠を組み立て、路線バス向けに納めている。1976年、尾道市で設立。95年に本社を三原市に移した。PC樹脂パネルを造っているのは本社がある三原工場だけ。海外からの多くの引き合いが、製品の競争力の高さを物語る。社名には英語で「反応の早い集団」との意味が込められている。植田取締役は「ガラスをPC樹脂に置き換えるため、さらに反応よく対応していきたい」と力を込める。（榎本直樹）